

人権ほっと三十年九月号

「隠れたカリキュラム」

でしよう。

大阪教育大学准教授

男女の違いについても隠

安達 智子

れたカリキュラムがあります。

教育学者のフィリップ・W・ジャクソンは、学校には公式のカリキュラムの他に非公式の隠れたカリキュラムがあることを指摘しています。隠れたカリキュラムとは、教師の態度や行動、子ども同士の関係性、学級内の雰囲気などを通じて子ども達に伝わる意識や態度のことを指します。この隠れたカリキュラムは、ときに公式の教育内容よりも子ども達の態度や行動に強いインパクトをもつことがあります。

たとえばイジメについてです。学校が「イジメは決して許さない」という方針を示

身に着けていきます。隠れたカリキュラムは伝

していても、仲間はずしや心ない発言を教師が正そうとしないならば、子ども達は「イジメは起きて仕方がない」先生はイジメを見逃すものだ」という非公式のメッセージを感じ取り、いじめを許さない学校づくりは形骸化していく

達している側もされる側も無自覚なことが多く、正すのが容易ではありません。しかし、子ども達が学び育つ環境にメッセージが隠されている可能性をふまえて、点検してみようという姿勢が男女平等に向けた第一歩となるでしよう。